



# ものづくり 広報

## 新年度の始まりにあたり

新年度がスタートし1カ月が経ちました。新たな取り組みに邁進していることとお察し申し上げます。

一つの波を乗り越える間もなく次の波が頭上に被さり、変化の大きさは過去に経験がありません。ピンチはチャンスという言葉をよく耳にしますが、今こそ依存体質から自立体質への変革を、管理や技術、創造性のスパイラルアップに取り組みたいところです。



自立体質へ

現場の問題解決から生産体質の変革が土台となる、社員教育へと関心の高まりを見せ、さらには企業体質や将来計画にわたる相談ごとが増えてきています。

企業体質をいきなり変えるということは簡単ではありません。自社の得意技をつきつめ工夫を加え、発想を転換すれば荒波を乗り切るきっかけになるかもしれません。

センターは今年度も皆様とともに活動していきます。活気ある鈴鹿に向かってセンターと企業が一体感をもって、共に頑張りましょう！

## 7年目の新しいステージに

H24年4月以降、支援活動をよりきめ細かに、より現実的に実施できるよう、新しい体制で活動を行います。センターの3次中期年計画の重点施策を紹介いたします。

企業間の連携促進	・部会活動の発足で新風を！・企業見学会 勉強会開催等
集合研修の拡充	・管理監督者コース開設 ・専門講座常設化 検討
企業目線で きめ細かな訪問巡回活動へ	・巡回・相談員が現場に訪問します、困りごと、悩みごと、関心ごと等 語りかけて下さい。
ものづくり広報紙面刷新	・新鮮度アップ ニュース性アップ ・企業紹介等



# 活動事例紹介

テーマ：プラスチック射出成形の

小ロット品簡易金型の設計指導

背景：当社の戦略的課題であるプラスチック射出成形の金型を自社で設計製作するノウハウを取得したい

目標：自社技術になかった射出成形金型設計技術をマスターする

期間：2011年11月～2012年3月

(H24年度も発展継続中)

内容：射出成形金型の構造機能設計の基礎から設計完了まで

活動ポイント：設計担当者の進捗状況をひとつひとつ確認しながら、基礎から設計実務まで技術指導。

社長の声：担当者に設計の基礎から金型設計技術を指導して頂いています。現在細部設計中ですが、設計完了後は、金型製作になりますので、引き続きご支援いただきたい。

年度	平成23年度
企業	アサヒ化工株式会社
業種	自動車部品コネクタ製造
支援	中島 SA

センターでは、市内の中小企業の活躍を広く市民の皆様にご覧いただくため、市役所一階市民ロビーに昨年10月17日、オープンいたしました。



## ものづくり産業展示コーナー

4月27日時点で26社の皆様に参加いただき、各社工夫を凝らした展示をいただいております。

総合案内担当者に聞くと、1展示100名を超える方々にご覧頂いているとのことでした。近所にあるけどどんな会社か知らなかった、という方もみえました。



## お知らせ

### 【1】産学で連携して開発する事業の補助金を公募します

#### 【内容】

産学の連携による研究開発の強化と市内の製造業の活性化を図るため、新商品や新技術の研究開発に要する経費の一部を補助します。

#### 【対象】

市内に本社または主たる事業所がある事業者の新商品や新技術の研究開発で、大学や高専などの高等教育機関と共同で行う事業や指導を受けて行う事業

展示企業随時募集しております。この機会に、自社のPRに挑戦してみませんか？

問い合わせはものづくり産業支援センターまで

【補助額】 補助対象額の2分の1以内（50万円以上250万円以内）

【申し込み期日】 6月15日（金）ものづくり産業支援センターまで

### 【2】「先端材料(CFRP)勉強会」のお知らせ

平成24年6月8日（金）15時～18時 鈴鹿市役所本館12階1203会議室

テーマ：「今後のCFRPの方向性と岐阜県研究開発財団の取り組みについて(仮題)」

岐阜県の先進的な取り組みを紹介、中部圏内における企業間・大学間の広域連携の可能性も含めご講演いただきます お申し込みは産業政策課 産業政策Gへ（382-9045）

### 【3】次世代産業育成支援の補助金を公募します

次世代産業育成支援事業補助金（産業政策課 産業政策G 382-9045）

指定の分野に関する新たな工業製品、新技術の研究開発を2社以上の共同開発で行う経費の一部を補助します。ただし、いずれか1社以上の方が平成22年以降に鈴鹿市が実施した勉強会に参加していることが条件です。

補助対象経費の2分の1以内(上限100万円)

申し込み期間：6月1日～6月29日

※詳しくは5月5日号市広報、もしくは5月5日以降のHPをご覧ください

#### 【発行】

鈴鹿市 産業振興部産業政策課ものづくり産業支援センター  
〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)  
TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868  
E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp





# 企業祭 ご出席ありがとうございました！

平成24年2月25日（土），代表幹事会社の皆さんが主役になり，「活」をキーワードに企画・推進・運営にチャレンジした第二回企業祭は，予測を上回る200名を超える方々に来場いただき，盛り上げていただきました。本当にありがとうございました！

## パネルディスカッション ～先人の知恵に学び 未来に繋ぐ～

初めての試みでしたが，パネラーの皆さんひとり一人の話を聞くことができました。現在の問題点・これからの課題など，来場いただいた皆さんにも共感できる話題が沢山ありました。



《企業パネラー》  
 アサヒ化工(株) 諸岡社長  
 (株)オーヴァーレーシングプロジェクト 高橋社長  
 三恵工業(株) 安田部長  
 杉野工業(株) 杉野社長

### 未来

会社の夢を語る  
 これからチャレンジ  
 したい事は？

### 現在

どのような局面に  
 立たされているか  
 今の困りごとは？

### 過去

高度成長期は  
 今とどう違ったか

《センター研修OBパネラー》  
 (株)美建 中山さん  
 (株)マザキナ 眞境名さん  
 《協力機関パネラー》  
 鈴鹿工業高等専門学校 埜教授  
 (株)百五経済研究所 中畑部長  
 (財)三重県産業支援センター 湯浅課長



## 現代の荒波を乗り切るポイントは

右の4つの力をバランスよく保ち，  
 その上に**戦略と戦術**を立て，  
 皆で協力して取り組むことです！

- ・他企業の仲間
- ・異業種の仲間
- ・地域の仲間
- ・ネットワーク
- ・サプライチェーン



- ・若者の元気力
- ・経営者と社員と同じ目線での取り組み

- ・先進性
- ・価格/スキルUP
- ・マーケットイン

- ・開発
- ・チャレンジ
- ・新分野・新商品
- ・グローバル展開

### ～参加者の声～

- ・鈴鹿の歴史を知らなかった。視野が広がった。
- ・経営者のチャレンジ精神を頼もしく感じた。
- ・協力機関の「相談を受けます」が心強く嬉しかった。
- ・会場とのコラボが深まれば更に良い。

## ◆お知らせ リーダー研修 受講生 4月2日から募集します！！

座学×現場実習×グループワーク×発表＝現場で活躍する**リーダー**に！！

管理編/技術編 2コース 5月～7月 詳細はセンターまでお問い合わせ下さい



# ヒューマンドキュメント (ダイジェスト)

3名の経営者が語る自身のモットーと経験談

- ・自分の力でお金儲けをしたかった。
- ・世の中には多くの仕事があると信じ独立を決めた。
- ・苦しい時の友人の助けの大切さを実感した。
- ・友人に職場の汚さを指摘され、製品の品質は職場のきれいさが重要であると知りました。
- ・自分が機関車のごとく走るのではなく、社員みんなが生き生きと**活躍**できる会社にする。
- ・モットーは、小さい会社ではあるがやる気のある会社でいたい。
- ・「企業は人なり」。後継者育成に取り組んでいる。
- ・「攻め」は進歩であり、「守り」は愛情と知識がいる。

これらをバランスよく見極めるのが社長業

(株)マルタシエルサービス  
田代社長



(株)プロテック工業  
辻社長



(株)美建  
中山社長



## 屋台村の風景

屋台村理事  
(株)美建  
中山社長



今回は食品関係も参加し  
にぎやかな屋台村に  
なりました!



- ・自社の製品をアピールできる空間となり、
- ・鈴鹿市の中小企業を目で知る絶好の機会にもなり、
- ・肩と肩が触れ合い、自然に言葉を掛け合う空間となり、
- ・フェイス・トゥ・フェイスの語らいが見られ、**活気**がきました。

## サロン広場

サロン理事  
(株)オーテック鈴鹿  
大内田社長



温かい飲み物やお茶菓子を片手に、  
気楽な雰囲気の中、  
日頃なかなかお逢いして話をするチャンスが  
少ない企業の担当者同志の情報交換の場となりました。  
新たな出逢いが生まれ、  
多くの人と人との繋がりが**活力**となっていくのだと  
あらためて感じさせられました。



(協賛のお礼)  
祭り当日、多くの企業の皆さまから、  
サロンにご協賛を頂戴しました。  
この場をおかりして御礼申し上げます。

## 村長あいさつ 企業祭を振り返って

村長  
(株)岩間化学  
岩間社長



皆さんで盛り上げて頂き有難うございました。  
3つの会場とも交流が**活動的**で元気をもらうことができたとの声を聞くと、  
本当にやってよかったと思います。  
幹事会社の一員として祭りをの中から見て学んだことは、企画、準備、段取りを  
スピード感をもって、ゼロベース予算の考えで推進されたことです。  
アナログ感あふれる、手作りの祭りを見る事ができたのが強烈に印象的でした。  
次回は一人でも多くの若者が参加できるよう取り計らっていただきたいものです。  
我が社はすでに若者の手が拳がっています。



◇東日本大震災義援金協力の呼びかけ結果◇

**24,239円 募金いただきました。**

平成24年2月27日 鈴鹿市生活支援課を通じ  
日本赤十字社宛てに寄付をいたしました。  
ここに謹んでご報告申し上げます。  
皆さまのご協力、ありがとうございました。

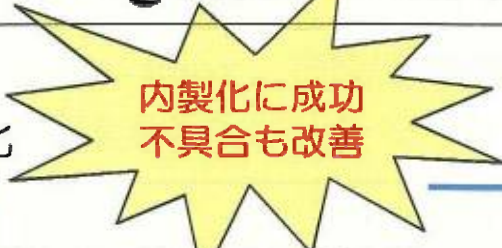
【発行】

鈴鹿市 産業振興部産業政策課ものづくり産業支援センター  
〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三)  
TEL 059-382-7011 FAX 059-384-0868  
E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp



活動事例報告 (2008-02)

ワラ刷毛 (ハケ) の内製化



**依頼内容** 型紙づくりワラ刷毛作りのアドバイスと実践。  
(受付番号: 2008-19)

**職場概要** 型紙の製造販売 資料2

テーマ : 伊勢型紙用の刷毛(ハケ)の内製化

**診断結果** 従来の刷毛メーカーで生産中止、調達不可能となり自社での早急な内製化が必要となった。

**施策**



- 効果**
- ① 型紙用刷毛の内製化が可能になったと同時に従来品の問題点が解決できた。
  - ② 地元農工連携によるものづくりで伝統産業の道具づくりへ貢献。

**企業TOPコメント**

今回支援いただき伝統産業を守ることができました、ものづくりに対する考えを今までとは違った視点で学ぶことができました、これからもよろしくお願いします。

活動事例報告 (2008-03)

機械化による作業効率アップ



依頼内容

手作業から機械化にすることで生産効率を向上させ作業要員を2名から1名に削減。  
(受付番号: 2008-029)

職場概要

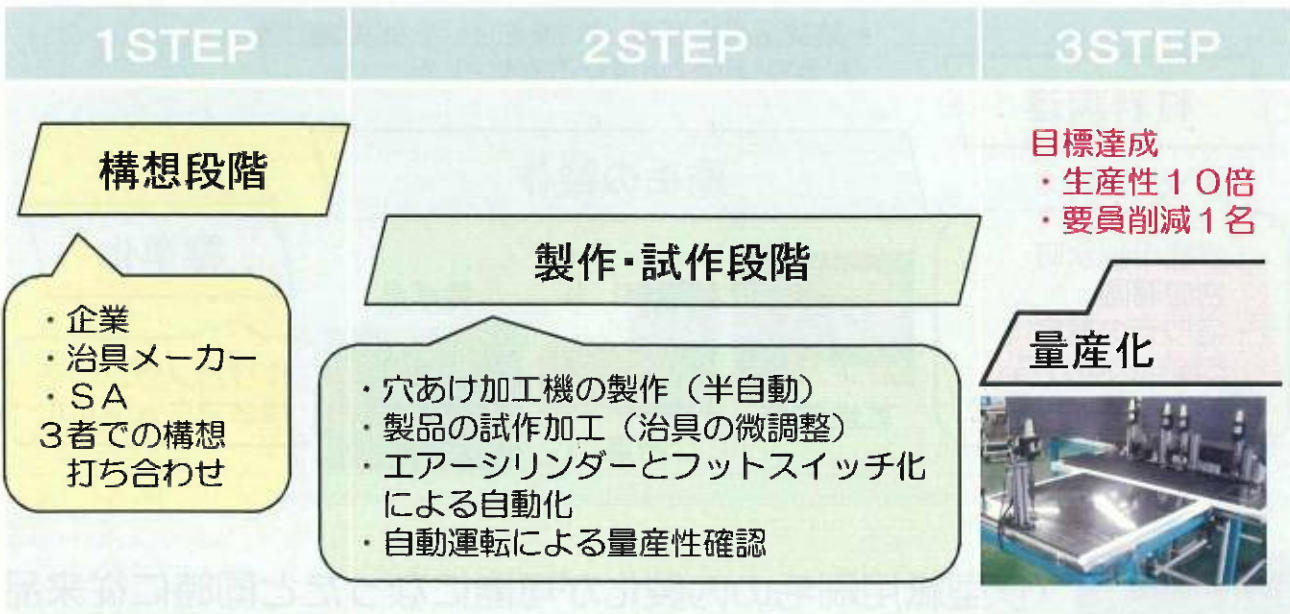
自動車用内装部品加工 (プレス・縫製・接着)

テーマ : リベット穴あけ工程の生産効率アップ

診断結果

新機種立ち上げに伴い、今後増産が見込まれるため手作業から機械化による生産効率アップと同時に要員削減が必須と判断する。

施策



効果

手作業から自動化生産により、生産性10倍 要員削減1名を達成

企業TOPコメント

構想段階から量産化まで支援いただき、当初目標の生産性アップと要員削減を達成、品質面でも自動化による安定化が図れました、今後もお世話になろうと思っています、ありがとうございました。



活動事例報告 (2009-01)

M-EMSの取得  
(みえ・環境マシ ヌシステム・スタン ド)



依頼内容

経費的に負担の大きいISOに替わる環境マネジメントシステムの取得。(受付番号: 2009-013)

職場概要

マシニングセンター中心に発電用モーター等、600~1,100mm径の機械加工を主に行っています。

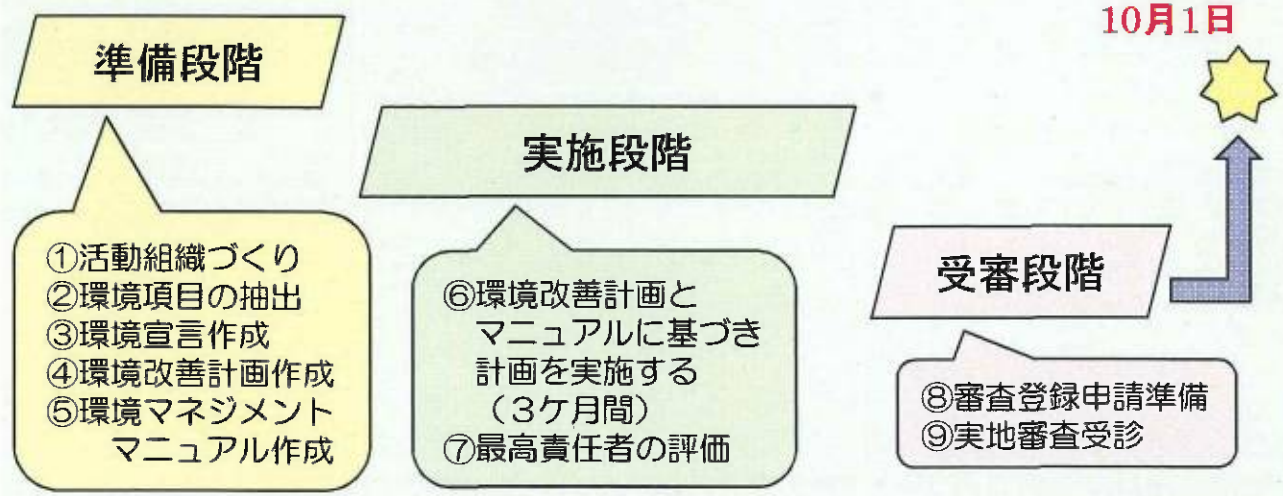
テーマ : M-EMSの認証取得支援

診断結果

ムリ・ムダ・ムラの排除と管理レベルの向上を図ることで、M-EMS 1 STEPの取得が可能と判断。

施策

1STEP	2STEP	3STEP
-------	-------	-------



効果

省エネ化(電気使用量等の見える化)と業務効率向上ができた又従業員間のコミュニケーションも活発化し組織の活性化にも役立った。

企業TOPコメント

初めての試みなので、SAさんにアドバイスを頂きながら認証取得STEPをひとつずつクリアして無事認証取得ができました、今後も維持改善を続けていきますのでご支援をお願いします。